「進取の気性」で変化の時代に対応 先端から在宅まで地域を面で支え続ける

医療法人社団 藤聖会 八尾（やつお）総合病院

遠く立山連峰を望む現在の八尾総合病院。
3年後には、より市の中心に近い場所に新病院ができる

富山市南部の越中八尾の地に建つ八尾総合病院は、在宅医療を推進する一方で専門性の高い医療も提供、地域の医療機関と連携しつつ、患者を地域一体となって支えてきた。2018年には、より市の中心に近い場所へ移転し、グループ内の山田温泉病院の療養病棟と合わせて約300床の病床が誕生する予定であり、医療ニーズが高まるエリアでの新たなる挑戦が始まる。同病院が担う役割について、藤井久丈理事長に伺った。

県内初の「地域包括ケア病棟」将来見据えて新病院を開設

富山市中心部から約15キロ南に下った越中八尾（えっちゅうやつお）。八尾総合病院は商いの町として栄えた時代の情緒が残るこの町の一角にある。八尾は立春から数えて210日目、9月1日から開催される「おわら風の盆」に国内外から毎年多くの人が訪れることで有名だ。北陸新幹線が開通した富山は、東京から約2時間の距離となり、観光客と共に移住者を呼び込んでいる。八尾総合病院が現在の地に開設されたのは1987年。当時、地域住民から求められていたのは「治す医療＝急性期医療」だった。その後、社会の状況は大きく変わり、同院もその医療の姿を大きく変えようとしている。

「〝治す〟時代から、〝支える〟時代になりつつあります。地域にネットワークを作り、〝面〟として住民を支える。そうした多面的な医療が求められ、それに応えてきました」

そう語るのは藤聖会理事長・藤井久丈氏である。

八尾総合病院は医療政策や地域のニーズに対応して、県内でも数少ない「回復期リハビリテーション病棟」の開設や介護予防を主体とした「八尾通所リハビリセンター」の開設など、さま

聞き手／ドクターズマガジン編集部　文／安藤梢　撮影／緒方一貴

(DOCTOR'S MAGAZINE 2015年8月号)

「面」での展開は着々と進む

2008年開設。地域の医療機関とも連携し、各種がんの治療にあたる

金沢駅に直結したクリニック。内科・婦人科の健診や毛髪・EDなどの特殊外来に力を入れる

□…病院
■…クリニック
■…老人保険施設

温泉施設を備えた県下有数規模のリハビリテーション病院

ざまな変化を遂げてきた。2014年には、富山県内初となる「地域包括ケア病棟」を開設。常に県内に先駆けた試みをしてきた同院が、次に見据えるのは2018年に開設予定の2つの新病院だ。一つは、一般154床の新病院。八尾総合病院は分院として一部が残る予定だ。もう一つは、3年前に経営を引き継いだ療養165床の山田温泉病院の移転新築。2院は隣接して建てられ、一体的に機能させる予定という。

「2025年問題を考える時、新病院を開設する2018年あたりが地域医療ビジョンの折り返し地点となります。この時期までに未来の富山の医療のかたちを固めていかねばならないでしょう。地域医療ビジョンが固まってくると、その中でどんな役割を果たすのか、再度考え抜く必要があります。地域のニーズを踏まえて、さまざまな機能の病棟を組み合わせる。そして地域医療機関との連携をしっかり図る。こうした原点に立ち返り、新病院の開設を機に〝面〟としての地域医療の展開をさらに進めたい」

「面」での展開はこれまでも着々と進めてきた。母体の藤聖会グループは、訪問看護ステーション、サービス付き高齢者向け住宅、介護老人保健施設を運営し、退院後の患者の生活を支えるための流れを作る。

「『入院は在宅医療を支援するもの』と位置付けています。これからの時代に求められるのは、〝その人らしく生きること〟を支援する医療。そのためには在宅が基本となるでしょう。『何かあったら入院できる』『家族が休むた

3年後に開設する新病院（イメージ図）

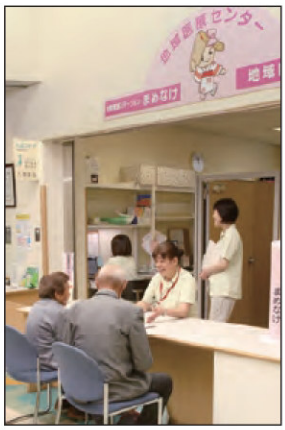
藤聖会理事長の藤井久丈氏

（DOCTOR'S MAGAZINE 2015年8月号）

めにも入院できる」といった安心感を提供するのが、入院の本来の役割です」

そうした考えの下、新病院では急性期から亜急性期（地域包括ケア）・回復期リハビリ・療養病棟と病棟機能を細分化し、あらゆる患者を受け入れる体制を整える。さらに、地域連携の要となるのが周辺の医療機関とのネットワークだ。CTやMRIなどの検査機器、手術・診察室などを地域の医療機関に開放し、あたかも自施設の一部のように活用してもらう計画だ。

「慢性期病棟は在宅医療と連携が必要になってきましたし、今後の医療政策でまた新しいタイプの病棟もできるでしょう。医療政策全体の流れに対して、地域の実情に合わせたアレンジを加えていく。ニーズに合わせて病棟や他の医療機関の機能をつないだり、組み合わせたりする。そのデザイン部分にこそ、地域医療の面白さがあるのだと思います」


病院内で気軽に相談できる

在宅医療にも積極的に取り組む

リハビリにも工夫を凝らす

米国病院での研修を導入 人材育成も使命の一つ

こうした機能を果たすために、大事なのは「やはり人」という。

「総合診療とは、疾患を総合的に診るだけではない。地域全体で診る、医療行政という大きな視野で診る、などの高い視点が必要です。患者や異分野の人からの信頼を得るためのコミュニケーション能力も必須です。そうした意味で〝総合診療医〟は、やはり一つの専門なのだと思います。『地域を〝面〟で診る』という新病院の狙いを実現させるためにも、総合診療医の育成にさら更に力を入れていきたい」

人材育成のために取り入れたのが米国のオレゴン・ヘルスサイエンス大学（OHSU）附属病院・テュアリティー総合病院での研修だ。特に富山県と姉妹都市であるオレゴン州にあるテュアリティー総合病院は地域における立ち位置が似通っていることもあり、20年以上にわたって交流を続けている。医

DATA

医療法人社団 藤聖会 八尾総合病院

〒939-2376
富山県富山市八尾町福島7-42

- **開設：**1987年
- **理事長：**藤井久丈
- **院長：**新居隆
- **診療科目：**内科、外科、消化器科、乳腺外科／ブレストケ　アセンター、整形外科、産婦人科、泌尿器科、小児科、　脳神経外科、眼科、放射線科、皮膚科、形成外科、耳鼻咽喉科、歯科・口腔外科、リハビリテーション科
- **病床数：**199床（一般病床98、地域包括ケア病棟56、回復期リハビリテーション病棟45）
- **外来患者数：**1日あたり約420人
- **手術件数：**年間927件（2014年度）
- **入院患者数：**1日あたり約170人

MediGate Powered by Medical Principle
リッチなコンテンツの医師求人サイト
MediGate（メディゲート）に掲載！
勤務ドクターに密着したスペシャルコンテンツ配信中
MediGate 八尾総合病院 で検索

（DOCTOR'S MAGAZINE 2015年8月号）

師や看護師などが現地に行き、研修を行い、交流することで、米国の「地域医療」を肌で感じさせる取り組みだ。

「医療水準自体はもはや米国も日本もそう変わらない。でも、患者へのホスピタリティーや説明責任などの面で米国は非常に進んでいますし、看護師など他の専門職の役割も異なる。違う視点で医療を見ることは、その後のキャリアに必ずプラスになります」

医師以外のスタッフにも活躍の場を広げる。今年4月にスタートした、特定分野に強みを持つ認定看護師などが担う「看護相談外来」は医師の補助的役割ではなく、看護師の職種の特性を活かすことを目指す。将来的にはリハビリや薬剤師などの職種にも専門外来を広げたいと考えているという。

「経営者としては、スタッフを〝どう使うか〟という視点で考えがちですが、本来は〝どう活かすか〟なんです。さまざまな人の能力や熱意をくみとって、それが一番伸び、しかも活かせる環境を整える。その方法をいつも考えています。単に疾患別の医療を深めるだけでなく、変わる時代に合わせて、クロスオーバーでいろいろなことに挑戦できる。それがうちのような病院で働く醍醐味。医師に限らず、スタッフそれぞれが強みを活かすことが『地域を面で診る』ことにつながるのではないでしょうか」

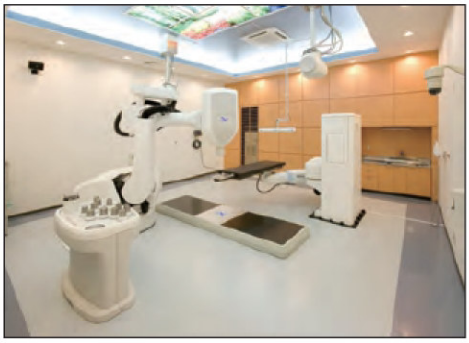
先端医療にも取り組みながら富山で地域医療に携わる喜び

藤聖会グループは2003年、富山県初の乳がん専門外来「ブレストケアセンター」を開設。最新の診断機器による乳がんの検査と治療に力を入れる。放射線治療分野でも、2008年サイバーナイフに特化した専門施設「富山サイバーナイフセンター」を開設。脳腫瘍、頭頸部腫瘍に対する放射線治療の他、肺がんや肝臓がん、すい臓がん、前立腺がんなど全身に対する放射線治療も行っている。

「地域を丸ごと引き受けるつもりでやっています。専門性の高い医療にも生活支援にも対応する。今までもそうして地域の信頼を獲得してきましたし、これからも変わりません。富山は食べ物が美味しく、立山をはじめとした自然も素晴らしい。ここでは都会とはまた違った意味の医療者・医療機関の使命があり、そこに携われる喜びがあります」

Point 専門クリニック開設で女性疾患に幅広く対応

乳がん、乳腺治療の分野で最先端の医療を提供する八尾総合病院では、さらに関連の医療機関「女性クリニックWe！TOYAMA」を開設し、ブレストケアセンターと連携を取りながら、乳がん、形成美容外科、不妊症、メンタルケアなど、女性特有の疾患に幅広く対応する。日本にも数台しか導入されていないうつ伏せタイプのマンモトームも設置している。


サイバーナイフを導入し放射線治療も進める

(DOCTOR'S MAGAZINE 2015年8月号)